世田谷区立奥沢中学校

図書館便り

三月号

本との出会い

いよいよ今年度最後の月となりました。4月からを振り返って、思い出に残る本との出会いはありましたか。出会った本の中には、長く読み継がれて将来再会するものがあるかもしれませんね。今月は本との出会いにちなんだ本を紹介します。

『桜風堂ものがたり』

村山早紀/著　PHP 研究所　913

まだ世に出ていない名作を探し当てることから「宝探しの月原」と呼ばれる月原一整は百貨店内の銀河堂書店に勤めていましたが、ある事件をきっかけに退職することになります。傷ついた一整が向かったのは、老人がひとりで営む地方の小さな書店「桜風堂」。そこで一整はかねてから気になっていた作品と再会します。一方、銀河堂書店でも書店員たちがその作品を売り出そうと奮闘を始めます。

『世界を変えた本』

マイケル・コリンズ ほか/著　樺山紘一/監修　藤村奈緒美/訳

エクスナレッジ　020

本は世界の歴史の重要な場面で様々な役割を果たしてきました。この本には古代から２１世紀まで、古今東西の名著と呼ばれる本が次々と登場します。その本はなぜ「名著」と呼ばれるようになったのか？最初に世に出たときにはどんな本だったのか？形や大きさ、本の作り、時代背景などがビジュアル的に分かりやすく紹介されています。

本の表紙画像は出版社から許諾を得られたものや、出版社または「版元ドットコム」の Web サイトで掲載可能であることを確認できたものを掲載しています。また、イラスト画像は制作者の利用規約を確認して使用しています。

2025.03Libnet

〈～本と食をつなぐ～給食コラボ〉

図書委員会企画メニュー第二弾！

3/12(水)の献立
＊ポテトコロッケ
＊ミネストローネ
＊フルーツポンチ
＊ミルクパン　＊牛乳

『給食アンサンブル』

如月かずさ・作　五十嵐大介・絵　光村図書出版（913）

中１の主人公・梢は給食が大好きな女の子です。３ 月末には転校することになっているのですが、友達には、秘密にしています。いよいよ最後の給食となる卒業メニューの日、みんなに転校の事がばれてしまい…。

他にも給食に関する話が六つ入った短編集です。

『こまったさんのコロッケ』

寺村輝夫・作　岡本颯子・絵　あかね書房（913）

「こまったわ」が口ぐせのこまったさん。ひょんなことから、サッカー場でゴールキーパーを任されます。ボールのかわりに飛んでくるのは、ジャガイモに玉ねぎです。おまけに空からパン粉が降ってきて…。

今日の夕食の献立はポテトコロッケに決定です。

本にまつわる記念日

３月２１日は「世界詩歌記念日(World Poetry Day)」

日本だけでも詩、和歌、俳句など多様な形があるように、世界にも様々な詩歌の形があり、昔から人々の身近な表現方法として親しまれてきました。そんな詩歌を通して言語や表現の多様性に親しむ機会を増やそうと、１９９９年に国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）によって制定された国際記念日です。

参考：ブリタニカジャパン,【探究・知識を深める】世界詩歌記念日に寄せて ～与謝野晶子～
https://www.britannica.co.jp/blog/yosanoakiko/ (参照日 2024.12.10)

UNESCO,UNESCO celebrates the World Poetry Day
https://ich.unesco.org/en/news/21-march-unesco-celebrates-the-world-poetry-day-13385
(参照日 2025.2.20)

読書のとびら

3月号　世田谷区立奥沢中学校図書館

新着本の紹介

『俺たちの箱根駅伝（上・下）』

池井戸潤/著　文藝春秋（913）

学生、裏で支える監督、中継するテレビ局等、様々な角度から箱根駅伝を捉え描いています。記録に残らない“寄せ集め”の関東学生連合チームははたしてまとまることができるのか…。

『江戸を照らせ－蔦屋重三郎の挑戦－』

小前亮/著　小峰書店（913）

今年の大河ドラマ「べらぼう」の主人公蔦屋重三郎の生涯をまとめた歴史小説です。浮世絵などの江戸時代の出版業についてよくわかります。

『見かたがわかればもっと面白い！日本絵画の教科書』

古田亮/監修　ナツメ社(721)

日本絵画の有名な作家や作品など、詳しく知ることができます。

『 世界でいちばん透きとおった物語』

杉井光/著　新潮社(913)

あるミステリー作家の死をきっかけに、その息子である主人公の青年が、父の最後の作品と思われる「世界でいちばん透きとおった物語」の遺稿がどこにあるのか、何が書かれていたのかを探っていきます。紙の本でしか体験できないラストはネタバレ厳禁です。世田谷区立中学校ビブリオバトル大会でチャンプ本になった１冊です。続編もあります。

春休み貸出　3/6(木)～4/18(金)

（１人８冊まで）

＊図書館にきて本を借りたり、メッセージを書いたりすると、景品がもらえます。

（ギフト引換券も使えます。）

『雨上がり、君が映す空はきっと美しい』

汐見夏衛/著　スターツ出版（913）

引っ込み思案の高校１年生の美雨は、憧れの映人先輩から誘われて、映研に入部します。新しい世界が広がっていくことに気づく美雨の姿に勇気がもらえます。

『深海ロボット、南極へ行く　極地探査に挑んだ工学者の700日』

後藤慎平/著　太郎次郎社エディタス（558）

深海用観測ロボットの専門家である著者が、南極大陸の湖に生息する「コケボウズ」のために、南極にみずから赴（おもむ）き実験する話です。

『八月の銀の雪』

伊与原新/著　新潮社（913）

『レーエンデ国物語』

多崎礼/著　講談社（913）

『死の森の犬たち』

アンソニー・マゴーワン/作

尾崎愛子/訳　岩波書店（933）